

2017 年度
環境活動レポート

対象期間

2016 年 9 月～2017 年 8 月

2017 年 10 月 26 日

昭和ネームプレート株式会社

環 境 方 針

昭和ネームプレート株式会社は、事業活動において

① 地球環境の保全が人類共通の最重要課題であること

② 地域社会の環境保全が地域の発展及び共存の上で重要であることを認識

し、可能な限りの範囲で目標を定め、省資源、省エネルギー、

リサイクルを推進し、環境負荷に配慮した活動を実行します。

それらをふまえ下記に環境方針を定め継続的に改善します。

1. 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
2. 電気・ガソリン・ガス等のエネルギーの削減
3. 水資源の節水
4. 化学物質を正しく使用し管理する
5. 環境関連法規制等の遵守
6. グリーン購入の実施
7. 長期的に LED 照明の推進

2016年10月24日

昭和ネームプレート株式会社

代表取締役 瀬田 昭男

事業活動の概要

- (1) 会社名 昭和ネムプレート株式会社
- (2) 代表者 代表取締役社長 大熊浩和
- (3) 設 立 1957年（昭和32）4月29日
- (4) 資本金 1,000万円
- (5) 事業内容 ネムプレート・パネル・ラベルの製造及び販売
「樹脂金属のプレス加工の製造および販売」については
レイクタウン工場拡大により、追加予定。【2018年3月にEA21拡大申請予定】
- (6) 事業規模 年間売上 約403百万円（2017年度実績）
従業員 37名
- (7) 本社所在地 東京都荒川区荒川6-52-10
TEL 03-3892-4221（代） FAX 03-3892-4222
- (8) 審査対象工場 昭和ネムプレート株式会社 埼玉工場
埼玉県越谷市蒲生3882-1
TEL 048-988-7611（代） FAX 048-986-6261
E-mail sato@showa-np.com
レイクタウン工場【2018年3月にEA21拡大申請予定】
〒343-0825
埼玉県越谷市大成町7-449-1
- (9) 工場規模 延面積 約1,089㎡
- (10) 環境管理責任者
代表者 代表取締役社長 大熊浩和
管理責任者 井口 忠久

環境目標とその実績

			2017年度 2016.9～ 2017.8 (実績)	2016年度 2015.9～ 2016.8 (実績) BM	2017年度 2016.9～ 2017.8 (目標)	2018年度 2017.9～ 2018.8 (目標)	2019年度 2018.9～ 2019.8 (目標)
二酸化炭素排出量削減	電力の削減	総量(kWh/年)	119145	107644	107213.43 (0.4%)	107213.43 (0.4%)	106567.56 (1%)
	ガスの削減	総量(m ³ /年)	38.1	39.4	/	1960.32 (0.4%)	1948.52 (1%)
	ガソリンの削減	総量(ℓ/年)	/	10855.46	10812.03 (0.4)	10812.03 (0.4%)	10746.90 (1%)
	CO ₂ の削減 (上記の合計)	総量(t/年)	81.520	77.200	76.891(0.4%)	90.048(0.4%)	89.505(1%)
節水	総排水量削減	総量(m ³ /年)	434	434	432.2(0.4%)	528.8(0.4%)	525.7(1%)
廃棄物量の削減	一般廃棄物削減	総量(kg/年)	573.15	2017年度実績 573.15	570.85(0.4%)	570.85(0.4%)	567.41(1%)
	産業廃棄物の削減	総量(kg/年)	5220.7	5666.4	5629.4(0.4%)	9997.2(0.7%)	9937.0(1%)
	段ボールの再利用	再利用率(kg/年)	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%
グリーン調達の推進	事務用品等の購入			現状購入品については少量であるが、長期にかけて100%を目指す。			
長期的にLED照明の推進	消費電力の違いや電気料金の差額を調べる。			各部の目標に向け、活動に繋げる。 長期的に導入出来る様活動する。			

(電力：日本テクノ(株)2013年度実排出係数 0.482 (kg-CO₂/kwh) の換算値を使用。)

- CO₂の削減はBMを見直した結果、未達成だった為2016年度の実績(BM)を据え置きし-0.4%とする。ガスは業務上で使用する事が少ない為、2016年度の環境目標からは外すが使用量は記録しCO₂に換算する。但しレイクタウン工場についてはガス空調機を使用する為、2017年度実績をBMとし、削減活動していく。
- 一般廃棄物は2年連続目標を達成した。今期は中期目標3年目の目標も達成した為、2017年度実績を新たにBMとする。産業廃棄物は3年連続未達成だったが、目標達成した為2016年度実績をBMとし-0.7%とする。
- 水道は2ヶ月に1回の測定 前期は大幅な目標達成だった為、BMを見直した結果、僅かな未達となった為2016年度実績(BM)を据え置きし、-0.4%とする。
- 中期目標は3年で-1%を目指して行く。2019年度が終了した時点で中期目標の見直しをする。
- この他に次のことに取り組みます。
 - ・化学物質を正しく使用し管理(棚卸し等)削減にむけて活動する。
 - ・レイクタウン工場は2018年度から正式に組織の中に組み込みます。
 - ・2018年度から埼玉工場とレイクタウン工場(プレス部)の実績を合算し活動する。

環境目標・活動計画と評価

対象期間(2016年9月～2017年8月)までの目標とその実績についての計画と評価

取り組み項目		達成状況	評価(結果と今後の方向)
二酸化炭素排出量の削減	<u>電力・ガス・ガソリン等の削減</u>	B.M に対し+5.6% 未達成 0.4%目標に対し 達成率 94.32%	BM を見直した結果、未達成となった。ガソリンについては僅かながら削減出来ている為、夏期冬期のエアコン使用量が増加したことが要因と思われる。CO2 の削減は厳しくなっており下に項目である LED 照明の導入も視野に入れ出来る限り増えないよう活動内容を見守る。
	<u>総排水量の削減</u>	B.M に対し±0 未達成 0.4%目標に対し 達成率 99%	前期、目標達成した為 BM 値を見直した結果、目標に対しては僅かな未達となった。 しかし、BM 値の変更により削減が厳しいなか、僅かなプラスで済んだのは、元栓を 2 割程度絞ることの継続と、毎作業時高い意識を持ち節水活動をした効果が出たように思われる。来期も削減が厳しくなることが予測される為、更なる高い意識を持ち活動していく。
一廃棄物の削減	<u>一般廃棄物の削減</u>	B.M に対し-3.4% 達成 0.4%目標に対し 達成率 103%	目標数値に対し今期も目標達成する事が出来た。来期は今期の数値を BM 値にする事で厳しくなる事が予測される為、引き続き高い意識を持ち活動していく。
	<u>産業廃棄物の削減</u>	B.M に対し-7.9% 達成 0.4%目標に対し 達成率 108	3年ぶりの目標達成となった。今期は年末の大掃除に出る廃棄物が前期と比べて-4.8%少なかった事が主な要因と思われる。来期は BM の変更により厳しくなるが、仕事量に影響されやすい産業廃棄物をどのように削減していくかが課題であろう。又、RPF として再利用しており廃棄処分はしていない。
化学物質の使用と管理	使用化学物質の種類を把握し正しく管理する。	社内にあるインクや溶剤等の使用状況・保管量を把握する。	棚卸し等の管理を行い、今迄以上の管理が出来た。今期も有機溶剤を安全に、正しく使用していく。
グリーン調達 の推進	事務用品等の購入	少量ではあるが目標に対し活動した。	長期にかけて 100%を目指す。
長期的に LED 照明の 推進	消費電力の違いや電気料金の差額を調べる。	社外からの情報提供依頼	各部の目標に向け活動に繋げる。 長期的には数値化出来る様に活動する
(総評)年々削減が厳しくなっている中、廃棄物が達成出来た事は評価できる。総排水量が BM に対し未達だったが前年度と同数値であり更なる削減は厳しいだろう。未達だった CO2 では電力の割合が多い為、今後は電力の削減が重要である。又、LED の導入も視野に入れつつ来年度はスマートクロックのバージョンアップにより電気の見える化で電力使用量が把握しやすくなる為、その効果に期待したい。レイクタウン工場を組み込む事で数値ならび従業員教育も引き続き実施しなければならない。			

環境関連法の遵守状況

環境関連法規等にとっとり、遵守しています。

「埼玉工場に適用とする環境関連法規一覧表」を基にその遵守状況を評価した結果、遵守していることを確認した。また、過去 5 年間にわたって違反や訴訟は 1 件も発生していません。

昭和ネームプレート株式会社埼玉工場

代表取締役社長 大熊浩和

管理責任者 井口忠久

2017.10.26

(代表者による評価及び見直し結果)年々削減が厳しくなっている中、廃棄物が達成出来た事は評価できる。総排水量が BM に対し未達だったが前年度と同数値であり更なる削減は厳しいだろう。未達だった CO2 では電力の割合が多い為、今後は電力の削減が重要である。又、LED の導入も視野に入れつつ来年度はスマートクロックのバージョンアップにより電気の見える化で電力使用量が把握しやすくなる為、その効果に期待したい。レイクタウン工場を組み込む事で数値ならび従業員教育も引き続き実施しなければならない。